

目次

まえがき	五
第一話 物の表面の状態を知るとは中身について知るよりもやさしいか	二
第二話 なぜ表面のことを気にするのか ——相変化と触媒作用——	二
第三話 シリコン単結晶のへき開面 ——新鮮な清浄表面——	元
第四話 シリコンへき開面のアニーリングとトンネル顕微鏡	四
第五話 ハスの葉の露とエピタキシー現象 ——小さな粒がパッと合体する——	六

第六話 本当に何もくつついていない表面で起きる現象

——MBEと人工超格子結晶の夢——

一五

第七話

水にぬれるものと水をはじくもの

——ファンデアワールス結合の話——

一三

第八話

顕微鏡は進化する

——電子顕微鏡で何がわかるか——

一三

一 ものを見ようとする情熱

一三

二 光学顕微鏡の限界

一三

三 電子顕微鏡の誕生

一六

四 「メザンの黒焼」になっている電顕像

一四〇

五 電子顕微鏡をつくるための共同研究

一四四

六 世界最先端をいく日本の電子顕微鏡

一四六

七 電子顕微鏡の二つのタイプ

——透過電顕と走査電顕——

一四九

八 電子顕微鏡の機能の限界

一五六

九	表面分析とは	一六二
一〇	電子線損傷を防ぐために	一六五
第九話	有機薄膜と分子素子	一六九
一	薄膜と表面	一六九
二	真空蒸着法	一七三
三	有機系分子を思いのまま薄膜にならべること	一七五
四	有機薄膜の分子のならば方を見わける方法	一八一
五	分子素子への展開	一八七
	参考文献	一九五
	あとがき	一九七